

令和7年度（令和6年度対象）

教育委員会の点検・評価

令和7年8月

洞爺湖町教育委員会

も く じ

I	はじめに	1～2
	1. 点検及び評価とは	
	2. 洞爺湖町教育委員会の点検及び評価	
	(1) 評価の流れ	
	(2) 評価の対象	
	(3) 事務事業における評価者	
	(4) 評価シートの作成	
	(5) 達成度評価基準	
	(6) 行政評価委員による意見・提言	
	3. 教育行政評価の公表	
II	教育委員会の活動状況	3～5
	1. 教育委員会議の開催状況	
	2. 委員の活動状況	
III	事務事業評価及び評価委員の意見・提言	6～31
IV	資料（別添）	
	1. 令和6年度教育行政執行方針	
	2. 令和6年度各種事務事業の実績等	

I はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（以下「改正法」という。）が、平成20年4月1日から施行されました。この改正法では、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」が教育委員会に義務付けられています。

1 点検及び評価とは

教育行政の点検及び評価とは、洞爺湖町教育委員会が行っている行政活動（施策・事業）をどのような成果を上げたのかという観点から点検・評価し、その結果を改革・見直しに結びつけ、行政運営の質の向上を図るものです。また、住民にわかりやすく説明することによって、行政活動の透明性を高めるための経営手法でもあります。

（1）点検及び評価の目的

点検及び評価の目的は、

- ①政策や行政活動（施策・事業）の質を向上させること。
- ②行政の説明責任を果たすこと。
- ③教育行政に対する町民満足度を高めることです。

2 洞爺湖町教育委員会の点検及び評価

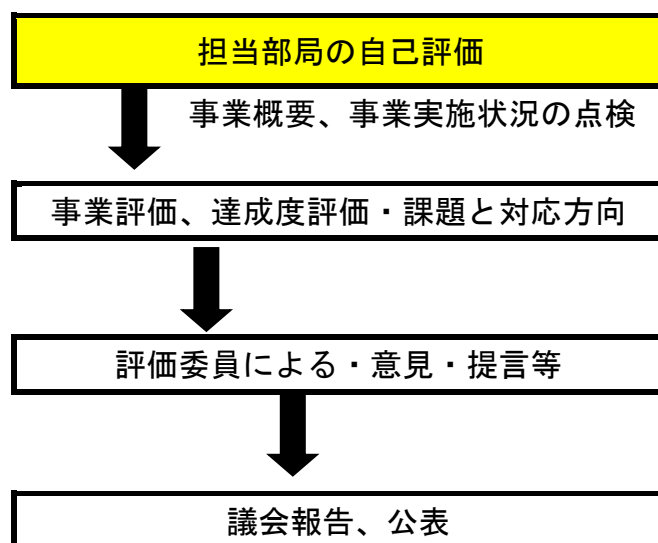
教育行政の点検及び評価をまとめて、「行政評価」とします。

（1）評価の流れ

教育委員会による自己評価に外部の視点から評価委員の意見を組み込むことにより、行政評価の客観性や改革・見直しの実効性を高めていきます。

各担当部局では、全事務事業を対象に、所定の評価シートを用いて「自己評価」を行います。

その後、評価委員が各事務事業に対する意見・提言等を示します。



(2) 評価の対象とする事務事業

前年度の「教育行政執行方針」に明記された事務事業の主なものを評価対象とします。

なお、個々の事業をまとめた「主要施策」ごとに評価シートを作成し、評価事務の簡略化及び明確化を図ります。

※ 教育行政執行方針の括りを「推進項目」…大項目、「主要施策」…中項目、「事務事業」…小項目に分類します

(3) 事務事業における評価者

事務事業評価は、担当部局が評価者となり、評価シートは所管課が作成します。

(4) 評価シートの作成

- ①「主要施策」に括られた「事務事業」の概要を記載
- ②上記事務事業の実施状況を簡潔に記載
- ③事務事業ごとの決算額を記載（過去2ヵ年）
- ④担当部局の「評価」を事務事業ごとに簡潔に記載
- ⑤「達成度」について、下記の基準により評価し、簡潔な説明を記載
- ⑥「課題と対応方向」について、具体的に記載

(5) 達成度評価基準

評価対象事務事業について、事業の達成度についてA～Dの4段階で評価します。

評価	事業達成状況	
A	予定事業の実施状況について	概ね達成できた
B		一部に未実施があったが、達成度は比較的高い
C		未実施のものが多く、達成度が低い
D		ほとんど実施できなかった

(6) 行政評価委員による意見・提言

担当部局が作成した「主要施策」ごとの評価シートを行政評価委員に提示・説明し、施策・事業への意見・提言を求める。

3 教育行政評価の公表

行政評価委員の意見・提言等を記載した評価報告書を町議会に提出し、町ホームページ等で公表します。

＜報告書内容＞

- ①教育委員会活動報告
- ②事務事業評価シート
- ③教育行政執行方針（参考）

Ⅱ 教育委員会の活動状況

1. 教育委員会議開催状況

令和6年第2回臨時会 5月13日

番 号	案 件
報告第 9 号	教育推進課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第 10 号	社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第 11 号	令和5年度虻田郡洞爺湖町一般会計補正予算（第8号）について、専決処分をした旨の通知を受けたことについて
指名第 1 号	洞爺湖町教育委員会教育長職務代理者の指名について
議案第 14 号	洞爺湖町学校給食センター施設の統合の見送りについて
議案第 15 号	洞爺湖町立虻田中学校校舎移転に係る地域協議会設置要綱の制定について
議案第 16 号	洞爺湖町立学校児童生徒家庭用 Wi-Fi 端末機器貸与要綱の制定について
議案第 17 号	洞爺湖町特別支援教育連携協議会設置要綱の一部改正について
議案第 18 号	洞爺湖町洞爺地区等高校生通学費等助成に関する要綱の一部改正について
議案第 19 号	洞爺湖町立学校に係る部活動方針の一部改正について

令和6年第3回定例会 7月11日

番 号	案 件
報告第 12 号	教育推進課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第 13 号	社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第 14 号	臨時代理の報告について（洞爺湖町令和6年6月会議提出一般会計補正予算（第1号））

令和6年第3回臨時会 8月26日

番 号	案 件
報告第 15 号	教育推進課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第 16 号	社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第 17 号	令和6年度全国学力・学習状況調査の結果概要について
報告第 18 号	令和5年度洞爺湖町学校給食会計決算について
議案第 20 号	洞爺湖町スクールバス管理規則の一部改正

議案第 2 1 号	令和 6 年度（令和 5 年度対象）教育委員会の点検・評価について
議案第 2 2 号	令和 7 年度から使用する中学校用教科用図書について

令和 6 年第 4 回定例会 1 0 月 1 6 日

番 号	案 件
報告第 1 9 号	臨時代理の報告について（洞爺湖町議会令和 6 年 9 月会議提出一般会計補正予算（第 2 号））
報告第 2 0 号	臨時代理の報告について（洞爺湖町教育委員会部局の人事異動）
報告第 2 1 号	教育推進課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第 2 2 号	社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について
議案第 2 3 号	洞爺湖町立学校管理規則の一部改正について
議案第 2 4 号	洞爺湖町子ども読書活動推進計画（第 4 次）の策定について

令和 6 年第 4 回臨時会 1 1 月 2 5 日

番 号	案 件
報告第 2 3 号	教育推進課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第 2 4 号	社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について
議案第 2 5 号	洞爺湖町教職員対象ストレスチェック実施要領の制定について

令和 7 年第 1 回定例会 1 月 2 8 日

番 号	案 件
報告第 1 号	教育推進課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第 2 号	社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第 3 号	臨時代理の報告について（洞爺湖町議会令和 6 年 1 2 月会議提出一般会計補正予算（第 4 号））
報告第 4 号	臨時代理の報告について（洞爺湖町議会令和 6 年 1 2 月会議提出一般会計補正予算（第 5 号））
報告第 5 号	臨時代理の報告について（洞爺湖町議会令和 7 年 1 月会議提出一般会計補正予算（第 6 号））
報告第 6 号	令和 7 年度当初予算要望概要について
議案第 1 号	教育委員会所管議案に対する意見について（洞爺湖町いじめ問題対策連絡協議会、洞爺湖町いじめ重大事態調査委員会及び洞爺湖町いじめ再調査委員会条例の制定

令和 7 年第 1 回臨時会 2 月 1 2 日

番 号	案 件
議案第 2 号	令和 7 年度教育行政執行方針について
議案第 3 号	洞爺湖町教育研究所設置規則の制定について
議案第 4 号	洞爺湖町立学校設置条例の一部改正について
議案第 5 号	洞爺湖町招致外国青年任用規則の一部改正について

令和 5 年第 2 回定例会 3 月 2 1 日

番 号	案 件
報告第 7 号	教育推進課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第 8 号	社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第 9 号	臨時代理の報告について(洞爺湖町議会令和 7 年 3 月会議提出 一般会計補正予算(第 7 号))
報告第 10 号	臨時代理の報告について(洞爺湖町議会令和 7 年 3 月会議提出 令和 7 年度一般会計予算(当初・教育費関係))
報告第 11 号	令和 6 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果概要に ついて
議案第 6 号	洞爺湖町教育委員会部局の人事異動につい
議案第 7 号	洞爺湖町立学校教職員の人事異動について
議案第 8 号	独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金に関する取 扱要綱の一部改正について
議案第 9 号	洞爺湖町いじめ防止基本方針の一部改定について

2. 委員の活動について

7 月 1 8 日	第 5 9 回北海道市町村教育委員研修会(札幌市)
1 1 月 2 1 日	学校訪問(洞爺湖温泉小学校・虻田小学校・とうや小 学校・虻田中学校)
1 1 月 2 2 日	学校訪問(洞爺中学校・虻田高等学校)
2 月 6 日～7 日	令和 6 年度胆振管内教育委員会委員研修会 (登別市)

事務事業評価

及び評価委員の意見・提言

行政評価委員総括意見

令和6年度の教育行政執行方針に基づき、24区分の主要施策に分けた主な事務事業について、各担当課による点検・評価の内容をもとに、第三者の立場から意見・提言を申し上げました。

評価対象の各種事務事業については、事業のスリム化が図られこの町の大事なことが形となって、数多くの事業への取り組みが報告され、今後の事業展開が期待できるものと考えます。このたびの評価を通して、特に次の3点について申し上げます。

1点目は、児童・生徒用に一人一台の端末（タブレット）の整備が進んでいることにより、ICTを最大限活用した教育の推進に積極的に取り組んでいる中で、町独自の事業について学力の向上に繋がる効果ある取り組みと思われることから、各課連携のもと仕組み作りに努めていただきたい。

2点目は、学校教育、社会教育、芸術文化と幅広い取り組みにより、洞爺湖町の魅力を伝えられる事業の展開が確認された。町民のニーズや期待に応じた子育て支援に対する事業が充実していることから、健全育成や地域の教育力向上に繋がる可能性がある事業も多く、今後の取り組みについても十分な検証をお願いしたい。

3点目は、事業の成果・達成度・結果の「見える化」を図ることにより、町内の子どもたちの成長が大人たちに広く伝わり、町の発展・向上に繋がるよう取り組みを進めていただきたい。

以上、3点申し上げましたが、更なる当町の教育行政の発展のための取り組みを期待します。

●洞爺湖町教育委員会行政評価委員

区 分	氏 名	摘 要
委員長	山本 隆	洞爺地区
委 員	高臣 陽太	洞爺湖温泉地区
委 員	大西 栄美	虻田地区

事務事業評価シート

		担当課	教育推進課		
推進項目	I 学校教育の推進				
主要施策	ア 学校運営の充実《取組その1》				
取り組みの概要 (事務事業)	①コミュニティ・スクールの実施 ②小中連携の実施 ③スタンダード5研修委員会による町内小中学校の取組の推進 ④GIGAスクール構想の推進				
実施状況	①平成29年度より洞爺地区でコミュニティ・スクールを導入し、虻田地区においては平成30年度より導入しており、各校で対面会議をそれぞれ実施した。 ②両中学校区で授業交流を軸とした小中連携を推進した。洞爺地区では相互授業参観と交流活動を行い、進学時には担任だけでなく養護教諭や生徒指導部長も加わり、児童の情報を多面的に引き継ぐ体制を整えた。虻田地区では小学校の授業参観に加え、中学校教員による乗り入れ授業を実施。特別支援学級への進学予定者については、早期から個別相談に取り組んだ。 ③町内の小中学校における学力向上を図るため、各校の取組状況を共有するとともに、確かな学力を育むことを目的として「スタンダード 5」研修委員による研修を実施した。研修では、ICTを効果的に活用した授業改善や、タブレット端末を用いた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた視点からの各校の授業改善に活かされている。 ④令和2年度に1人1台端末の整備以降は、文部科学省の補助事業を活用し、端末利用のルール・使用マニュアルの作成や授業のサポートなどを実施するGIGAスクールサポーターの配置、モバイルWi-Fiルーターの無償貸出の継続。ICT 部会において教職員へのサポート、情報共有や課題整理等を行い、今後の取組について協議等を行った。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(6年度)	
		5年度	6年度	国・道	その他
	①コミュニティ・スクールの町内全校実施	288	448	0	0
	②小中連携の実施	0	0	0	0
	③スタンダード5研修委員会の開催	104	28	0	0
	④GIGAスクール構想の推進	14,045	12,590	0	0
評価	①町内各校に設置されているコミュニティ・スクール体制により合同会議を実施。(年3回) ②小中連携では、生徒指導を中心とした交流に加え、小学校から中学校への進学時における、きめ細かな情報の引継ぎを通して、継続性のある支援体制を構築した。さらに、教務主任会を開催し、町の特色を生かした教育の実現に向けて、継続的な取組を推進した。 ③研修委員会は定期的に会議を開催し、他校の実践や研究授業の成果を町内へ還流させ、教師間の学びを促進。町全体としての学力向上に向けた取組を進めた。 ④ICT 部会による情報共有や、AI ドリルのトライアル、授業で使用するアプリの導入など、ICTを活用した教育の推進を図る取組みができ、端末の持ち帰り学習が促進された。				
達成度	A	説明	概ね達成できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①②③特になし ④端末の更新やネットワーク環境等の整備		①通常会議を開催し、学校教育の推進を図る。 ②今後も積極的に取り組んでいく。 ③これまでの機能を町の教育研究所の学力向上部会に移し、取組を推進させていく。 ④補助金等を活用し、整備を実施していく。		
評価委員の意見・提言	ICT を最大限活用した教育の推進と、各学校におけるよい教育活動の推進をお願いしたい。				

事務事業評価シート

	担当課	教育推進課			
推進項目	I 学校教育の推進				
主要施策	ア 学校運営の充実《取組その2》				
取り組みの概要 (事務事業)	①教育指導専門員の配置 ②全国学力・学習状況調査 ③学習支援員の配置 ④教育指導参与の配置				
実施状況	①引き続き1名配置した。(平成27年度から配置) ②令和6年度全国学力・学習状況調査を、国からの依頼により、町内全小中学校を対象に実施し、町内の調査結果を分析した。 ③基礎学力向上を図るために、学習支援員2名を配置した。 ④学校経営、特別支援教育、就学指導等への指導助言。洞爺湖町教育行政審議会を実施。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(6年度)	
		5年度	6年度	国・道	その他
	①教育指導専門員の配置	3,334	8	0	0
	②全国学力・学習状況調査	0	0	0	0
	③学習支援員の配置	8,055	6,454	0	0
	④教育指導参与の配置	0	0	0	0
評価	①教育指導専門員の配置により、教育委員会として各学校へ専門的な指導、アドバイスができた。 ②全国学力・学習状況調査の実施及び独自の学力調査の実施により、現状の傾向や課題を把握し、分析し、児童生徒個々の教科指導の充実に努めている。 ③町独自の学力向上対策のための支援員の配置により、授業の円滑化や学習姿勢、意欲の意識向上に努めた。 ④教育行政審議会において、教育の質的充実と改善、教育施設の利活用等の協議をすすめた。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①特になし ②全国学力・学習状況調査の結果活用 ③学力の向上 ④小中一貫教育導入に向けた制度設計や組織づくり、及び教育課程の編成等		①引き続き配置を継続する。 ②学力向上に向けた取組として、全国学力・学習状況調査における現状の傾向や課題の把握、分析をはじめ各学校の取り組みの充実に図るため継続して実施する。 ③引き続き、学習支援員の配置を行っていく。 ④引き続き配置を継続する。		
評価委員の意見・提言	児童生徒の学習意欲や学び方の質が高まるよう、学力向上の推進に取り組んでいただきたい。				

事務事業評価シート

	担当課	教育推進課			
推進項目	I 学校教育の推進				
主要施策	ア 学校運営の充実《取組その3》				
取り組みの概要 (事務事業)	①独自学力検査の実施 ②小中学生実用英語検定・漢字・算数・数学検定料助成				
実施状況	①町独自の「標準学力調査(全面改訂版)」を実施した。 ②実用英語技能検定及び日本漢字能力検定料等について当該年度の1回分を助成した。 ＊受験者数 イ 実用英語技能検定 45名(受験率 34%) 前年度47名(受験率 31.1%) ロ 日本漢字能力検定 85名(受験率 21.7%) 前年度64名(受験率 15.7%) ハ 算数検定 13名(受験率 5%) ニ 数学検定 5名(受験率 5.2%)				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(6年度)	
		5年度	6年度	国・道	その他
	①独自学力検査の実施	447	428	0	0
	②実用英語・漢字・算数検定料等の助成	370	400	0	0
評価	①町独自の「標準学力調査(全面改訂版)」を実施により、児童生徒個々の教科指導が図られている。 ②漢検及び英検の受験率については前年度より増加した。引き続き助成制度の周知等を図るなど受験率の向上に向けた取組を進める。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	① 学力の向上 ② 受験者の増及び学力の向上		①町独自の「標準学力調査(全面改訂版)」の実施など、引き続き支援していく。 ②今後も受験者の増を図るとともに、学習意欲の向上を図り、学力の向上につなげる取り組みとしては有効と思われることから、引き続き実施していく。		
評価委員の意見・提言	児童生徒の受験率向上への取り組みについて、工夫を凝らしていただきたい。				

事務事業評価シート

	担当課	教育推進課				
推進項目	I 学校教育の推進					
主要施策	ア 学校運営の充実《取組その4》					
取り組みの概要 (事務事業)	①働き方改革の推進					
実施状況	①校務支援システムの導入。 ・学校閉庁日に対する保護者への通知					
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(6年度)		
		5年度	6年度	国・道	その他	
	①働き方改革の推進	1,650	2,112	0	0	
評価	①学校や児童生徒に関する様々な情報をデジタル化し、教職員間で共有するシステムを導入したことで、教職員の事務負担の軽減、子どもの育ちを教職員全体で見守るきめ細やかな指導の充実に寄与できた。 働き方改革の推進に向けて取り組みを実施したが、昨年度と比較して時間外勤務の縮減には至らなかった。					
	【平均時間外比較】					
	区分	R5平均時間外 在校等時間	R6平均時間外 在校等時間	区分	R5平均時間外 在校等時間	R6平均時間外 在校等時間
	4月	28.35 時間	32.1 時間	10月	22.65 時間	27.3 時間
	5月	25.75 時間	31.4 時間	11月	20.05 時間	22.9 時間
	6月	27.05 時間	29.25 時間	12月	16.15 時間	17.1 時間
	7月	17.35 時間	25.25 時間	1月	11.6 時間	14.2 時間
	8月	11.15 時間	7.75 時間	2月	18.1 時間	20.1 時間
	9月	22.95 時間	26.8 時間	3月	22.1 時間	19.05 時間
	4～9月	22.1 時間	25.43 時間	10～3月	18.44 時間	20.11 時間
達成度	B	説明	一部達成できなかった。			
課題と対応方向	課題		対応方向			
	①教職員の時間外勤務の短縮		①働き方改革指針に基づき、児童生徒の多様な学びを止めることなく、教職員一人一人の意識改革とともに、時間外勤務縮減の取り組みを進める。			
評価委員の意見・提言	教職員の働き方改革の推進に向け環境改善への取り組みに努力を重ねていただきたい。					

令和7年度(令和6年度実施)

事務事業評価シート

	担当課	教育推進課			
推進項目	I 学校教育の推進				
主要施策	イ 特別支援教育の充実				
取り組みの概要 (事務事業)	①介護員・支援員の配置 ②指導計画・教育支援計画の充実				
実施状況	①特別支援学級介護員4名、特別支援教育支援員4名及び学習支援員2名を配置した。 ②特別な支援を要する児童生徒一人ひとりに応じた支援を実現するため、個別の教育指導計画・教育支援計画の策定を着実に進めている。さらに、子どもの育ちと学びを切れ目なく支える仕組みとして、新生児訪問時に「子ども・子育て支援ファイル」を保護者に配布し、早期からの活用を促している。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(6年度)	
		5年度	6年度	国・道	その他
	①介護員・支援員の配置	34,449	23,675	0	0
	②指導計画・教育支援計画の充実 (支援ファイル「すくすく」作成費)	0	0	0	0
評価	①支援員及び介護員の配置により、特別な支援を要する児童生徒への柔軟な対応や、授業自体の円滑化を図ることができた。 ②個別の教育支援計画については、町内小中学校で共通様式の整備を進め、支援の質の向上と連携強化に向けた基盤づくりを進めている。また、発達や育ちを切れ目なく支える体制の構築に向けて、町全体で共有を進めている。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①介護員、支援員の確保 ②子ども・子育て支援ファイルの活用について、より効果的な支援につなげるため、様式や運用方法の見直しが必要。		①授業を円滑に行うため、適正な配置を考慮しながら、継続して配置をする。 ②関係機関と連携し、協議して進めていく。		
評価委員の意見・提言	特別な支援を要する児童生徒の学びの環境を確保するため、引き続き必要な対策を講じ、各学校との連携を図り特別支援教育の充実に取り組んでいただきたい。				

令和7年度(令和6年度実施)

事務事業評価シート

	担当課	教育推進課			
推進項目	I 学校教育の推進				
主要施策	ウ 特別教育等の充実				
取り組みの概要 (事務事業)	①環境教育、防災教育の推進 ②ALTの活用				
実施状況	①各学校は、自校の環境・防災教育計画に基づき、校外での体験学習や、火山マイスターを招いた実践的な防災学習を展開している。令和6年度は虻田中学校を会場に、虻田・洞爺両中学校の2年生が合同で避難所開設体験学習を実施。火山マイスターによる講話、段ボールベッドの組み立て、避難所運営体験ゲーム「Do はぐ」などを通じて、地域と連携した主体的な学びを通じ、防災意識の向上を図った。また、毎年実施している「一日防災学校」は、町内でローテーションを組み継続実施しており、防災教育の実践機会を全校に広げている。各校の取組成果は『環境・防災教育実践集』として体系的にまとめ、全校に配布することで、防災教育の質向上と実践の共有を図っている。 ②ALTを1名任用し、週1日ずつ各小中学校へ派遣している。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(6年度)	
		5年度	6年度	国・道	その他
	①環境教育、防災教育の推進(避難所開設体験学習会)	47	38	0	0
	②ALTの任用	4,229	4,714	0	0
評価	①各校の実情に即した防災・環境教育が展開されており、「一日防災学校」や避難所体験学習を通じて、児童生徒の防災意識を着実に高めている。 ②各学校の英語担当教諭と協力し、児童生徒たちの理解度を考慮した授業内容や方法を提案し、英語や異文化への興味や理解を深めている。				
達成度	A	説明	概ね達成できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①取組後の成果や課題を、学校・児童生徒自らが振り返る機会を設け、その学びを次なる教育活動へ確実に結びつけていく。 ②特に無し		①Google フォーム等を活用し、事業終了後にアンケートを実施。結果を即時に「見える化」し、次の教育活動へ確実に反映させる仕組みを構築する。 ②特に無し		
評価委員の意見・提言	ふるさと教育の推進と自然災害時の初期行動や避難所運営の習得など、継続した取り組みを進めていただきたい。				

事務事業評価シート

	担当課	教育推進課			
推進項目	I 学校教育の推進				
主要施策	エ 児童生徒の健康及び安全の充実《取組その1》				
取り組みの概要 (事務事業)	①体力向上の推進 ②フッ化物洗口事業 ③いじめ、問題行動、不登校等への対応				
実施状況	①令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査を実施した。 ②町内3小学校及び町内2中学校の全てでフッ化物洗口普及事業を実施した。 ③年2回の道教委のいじめに関するアンケート調査、学校独自のアンケート調査に加え、心理テスト(ハイパーQU)を実施した。また、必要に応じて、スクールカウンセラーの派遣を実施した。不登校児童生徒については、読書の家において、教育指導専門員が児童生徒の心のケアも含めて学習の支援を行った。また、いじめ防止対策推進法に基づき、いじめ防止対策や重大事態に適切に対処するために必要な事項について、洞爺湖町いじめ問題対策連絡協議会、洞爺湖町いじめ重大事態調査委員会及び洞爺湖町いじめ再調査委員会条例の制定を行った。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(6年度)	
		5年度	6年度	国・道	その他
	①体力向上の推進	0	0	0	0
	②フッ化物洗口事業の実施	253	233	0	0
	③いじめ、問題行動、不登校等への対応	457	379	0	0
評価	①令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査を実施し、本町の傾向と課題を把握することができた。 ②保護者の理解を深め、関係機関と連携を図り、フッ化物洗口事業を円滑に実施できた。 ③アンケート調査や心理テストの結果を検証し、いじめに関する早期発見及び所要の対応を的確に実施することができた。また、必要に応じたスクールカウンセラーの派遣により、円滑な学校運営を図ることができた。不登校児童生徒については、教育指導専門員を配置し児童生徒の心のケアを含め学習の支援を実施。近年、道内においてもいじめ重大事態が発生していることもあり、そのような事態を招かないために連絡協議会等におきまして、事前に防いで行かなければいけないことから、次年度へ向けての整備を行った。				
達成度	A	説明	概ね達成できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①体力の向上 ②特になし ③心理テストの有効活用		①男女ともに全国平均を下回る種目が多いため、今後も体力向上のため、各学校の取組充実と併せ現状の取組を推進していく。②今後も継続して実施していく。③いじめ、問題行動、不登校等への対応として、スクールカウンセラーの派遣を今後も継続する。心理テストについては、原則年2回として実施し有効活用を図る。また、不登校児童生徒対策については、教師間及び保護者との連携を図り、必要な場合は福祉部局と連携も検討のうえ、迅速かつ生徒に寄り添った対応を図るよう努める。		
評価委員の意見・提言	児童生徒の健康と安全の充実のため、体力向上の取組み及びフッ化物洗口事業の継続をいただきたい。また、いじめ・不登校対策について、各学校で行っている取り組み状況について、引き続き保護者との連携を図りながら、児童生徒に寄り添った対応を進めていただきたい。				

事務事業評価シート

	担当課	教育推進課			
推進項目	I 学校教育の推進				
主要施策	エ 児童生徒の健康及び安全の充実《取組その2》				
取り組みの概要 (事務事業)	①通学路の安全確保 ②各種安全教室等の開催 ③熱中症対策				
実施状況	①通学路等交通安全推進会議において通学路の危険箇所等の改善状況等の経過報告を行い、新たな危険箇所等の確認を行った。 ②地震や火災を想定した避難訓練、交通安全教室、薬物乱用防止教室などを実施した。 ③各小中学校の普通教室及び職員室・校長室へのエアコン設置実施設計を実施。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(6年度)	
		5年度	6年度	国・道	その他
	①通学路の安全確保	0	0	0	0
	②各種安全教室の開催	0	0	0	0
	③熱中症対策	4,146	8,000	7,600	0
評価	①通学路等の安全確保に向け通学路等の危険箇所等、今後の対策等について、共通理解を図ることができた。 ②自然災害等についての講話や実践を通じて、児童生徒の防災意識の向上が図られた。 ③熱中症アラート情報の共有。熱中症予防対策を講じる等、熱中症を予防を図ることができた。				
達成度	A	説明	概ね達成できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①②特になし ③各教室へのエアコン設置		①通学路等の安全確保に向け、合同点検等を実施し、安全対策の推進に努める。 ②今後も継続して実施する。 ③エアコン設置工事を実施。		
評価委員の意見・提言	児童生徒の安全確保のため、引き続き取り組んでいただきたい。				

令和7年度(令和6年度実施)

事務事業評価シート

			担当課	教育推進課		
推進項目	Ⅰ 学校教育の推進					
主要施策	オ 高校教育の充実					
取り組みの概要 (事務事業)	① 虻田高校への支援 ② 虻高未来づくりフォローアップ活動推進委員会との連携 ③ 洞爺地区等高校生通学費等助成事業					
実施状況	① 「虻田高等学校の未来づくりに関する提言書」に基づく支援事業を行った。 ② 虻高未来づくりフォローアップ活動推進委員会を開催し、現状等を検証した。 ③ 洞爺湖町より高等学校に通学する生徒の通学や下宿等に要する経費を負担する保護者に対し、助成を行った。					
事業費	事務事業		決算額(千円)		特定財源(6年度)	
			5年度	6年度	国・道	その他
	① 虻田高校への支援		5,545	5,002	0	4,900
	② 虻高未来づくりフォローアップ推進委員会活動事業		72	22		
	③ 洞爺地区等高校生通学費等助成事業		6,481	6,257	0	6,200
評価	① 生徒募集活動等必要な支援を行うことができた。 ② 令和3年度以降、虻田中学校3年生の保護者へ支援内容や進路等の文書を配布。12名が入学、内5名が町内より入学。 ③ 保護者への負担軽減を図る学習機会の確保をすることができた。					
達成度	A	説明	概ね達成できた。			
課題と対応方向	課題			対応方向		
	①入学者20名以上につながる支援策 ②提言書としてまとめた意見を次へつなげる活動の推進 ③特になし			①②虻高未来づくり推進会議で虻高の魅力化の発信及び入学者増となるような支援策を協議。 ③全町を対象とした助成事業の継続。		
評価委員の意見・提言	入学者20名以上に繋げるため、現在の取り組みの周知を強化するとともに、地域の高校のあり方について検討が必要であるとする。					

令和7年度(令和6年度実施)

事務事業評価シート

	担当課	教育推進課			
推進項目	I 学校教育の推進				
主要施策	カ 学校施設の整備				
取り組みの概要 (事務事業)	①学校施設の維持・管理の推進 ②教育施設の現状と今後の方向性への対応 ③虬田中学校の校舎移転				
実施状況	①町内小中学校施設に係る工事及び修繕を実施。 主な修繕 小学校遊具修繕 (693 千円) ②洞爺湖町教育行政審議会にて町教育関連施設の維持管理について検討。 ・町教育関係者を集めた審議会を7回開催し、教育施設の現地視察と今後のあり方について協議し答申を作成。 ③虬田中学校校舎移転に向けた学校施設環境改善交付金の申請及び財産処分申請等を実施。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(6年度)	
		5年度	6年度	国・道	その他
	①学校施設の維持・管理の推進	57,780	693	0	600
	②洞爺湖町教育行政審議会	222	710	0	0
	③虬田中学校の校舎移転	0	0	0	0
評価	①学校施設の維持・管理については、児童生徒の安全を優先し必要箇所の工事、修繕を行った。 ②教育施設等について、町民の意向を伺うことができた。 ③道施設課への各種申請等を遅滞なく行った。				
達成度	A	説明	概ね達成できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①改修工事に係る予算確保。 ②老朽化した施設の改修、あり方について地域住民への周知。 ③国の交付金採択の可否による町負担額への影響。		①学校施設の長寿命化計画等、老朽化対策を計画的に行っていく必要がある。 ②審議会の答申を受け、早期に方向性を示す。 ③学校移転に向けた改修工事及び引越し作業の実施。		
評価委員の意見・提言	洞爺湖町教育行政審議会の答申に基づき整備計画を整え、教育施設の維持・管理を推進していただきたい。				

令和7年度(令和6年度実施)

事務事業評価シート

	担当課	教育推進課			
推進項目	I 学校教育の推進				
主要施策	キ 地域交流事業の充実				
取り組みの概要 (事務事業)	①箱根町との中学生交流 ②洞爺湖子ども芸術文化フェスティバル				
実施状況	① 箱根町との中学生交流事業については、虻田中学校が受入校となり相互訪問を実施し交流を行った。 ② 洞爺湖文化センターにおいて、町内小中学校の児童生徒を集め、北海道演劇財団による音楽劇「地面に生えた毛」を鑑賞した。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(6年度)	
		5年度	6年度	国・道	その他
	①箱根町との中学生交流	1,168	1,106	0	0
	②洞爺湖子ども芸術文化フェスティバル	10	106		100
評価	① 相互訪問による交流事業を実施した。 ② 実演を鑑賞することで、児童生徒にとって豊かな感性、創造性を育む機会となった。				
達成度	A	説明	概ね達成できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	① ②今後の実施方法の検討		①は、親善交流の重要な事業であり、令和7年度も相互訪問による交流を予定している。 ②は教育活動の一環として、内容を検討しながら、事業を継続していく。		
評価委員の意見・提言	箱根町との伝統ある相互交流の継続と、文化芸術鑑賞など、本物に触れる機会を大切にしたい。				

令和7年度(令和6年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	教育推進課		
推進項目	I 学校教育の推進				
主要施策	ク 進学支援の充実				
取り組みの概要 (事務事業)	①育英資金貸付及び給付事業 ②中学校入学時制服等助成事業				
実施状況	①育英資金貸付及び給付事業 【入学時給付金】 7名 700千円 給付金額 高校・高等専門学校 8 万円、専修学校・大学 15 万円 令和6年度給付実績～高校5名、高等専門学校0名、専修学校・大学2名 【学資金】 2名 504千円 貸付基準額(月額:以下の金額以内) 高校 1.2 万円、高等専門学校 1.5 万円、専修学校・大学 2.1 万円 令和6年度貸付実績～高校0名、高等専門学校0名、専修学校・大学2名 【入学時一時金】 4名 1, 200千円 貸付基準額(以下の金額以内) 公立高校 20 万円、私立高校 30 万円、高等専門学校 30 万円、専修学校・大学 50 万円 令和6年度貸付実績～公立高校2名、私立高校1名、専修学校・大学1名 【育英資金基金状況】 R6年度末残高 119, 120, 158円				
	②中学校入学時制服等助成事業 洞爺湖町立中学校へ入学する生徒の制服購入費助成を実施。 R6年度中学校進学者数～虻中33名 洞中11名				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(6年度)	
		5年度	6年度	国・道	その他
	①育英資金の基金貸付及び給付事業	1,632	2,404	0	2,400
②中学校入学時制服等助成事業	2,947	4,760	0	4,700	
評価	①育英資金基金を活用して勉学意欲がある学生・保護者への経済的負担を軽減することができた。今後も積極的に活用してもらえるように周知方法等も検討しながら、事業を継続いく。 ②中学校へ入学する生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。また、販売店へ直接入金することにより、保護者負担をより軽減することにつながった。				
達成度	A	説明	概ね達成できた。		
課題と対応方向	課題	対応方向			
	①②特になし	①学資金については、ふるさと納税の指定寄附により資金の確保はできている。さらなる周知に努め、有効な運営を図っていく。 ②助成事業の継続			
評価委員の意見・提言	勉学意欲がありながら経済的理由等で就学が困難な学生支援と、就学時の保護者負担軽減のためにも、引き続き両制度の周知及び継続に努めていただきたい。				

事務事業評価シート

		担当課	学校給食センター		
推進項目	I 学校教育の推進				
主要施策	ケ. 学校給食(施設等)の充実				
取り組みの概要 (事務事業)	①給食センターの管理・運営				
	②食育活動の充実				
	③給食費一定額の補助を継続				
実施状況	①ハサップに沿った衛生管理・運営を行い安心・安全な給食提供を行った。				
	②安心・安全で栄養バランスの取れた給食提供を行うと共に、栄養教諭による食育指導・衛生指導を行った。また、地場産品の野菜等の使用に努めた。				
	③物価高騰に伴い、徴収している給食費では食材購入が不可能なことから、安定的な給食提供を行うため、補助金の支出を行った。				
事業費	事務事業		決算額(千円)		特定財源(6年度)
			5年度	6年度	国・道 その他
	①給食センターの管理運営費		64,011	66,011	0 0
	②食育活動の充実		0	0	0 0
	③給食費一定額の補助を維持		1,399	4,517	0 4,300
評価	①給食提供数は1日約490食:年間総数92,573食を、調理後2時間以内に喫食出来る様、計画的に提供先6校(虻田高校含む)へ適切に配送を行った。給食費については、虻田給食センターは納入率100%を達成出来たが洞爺給食センターは納入率98%だった。(給食費納入額:虻田給食センター18,930,900円・洞爺給食センター6,327,600円)				
	②栄養教諭による食育指導で食育の推進が図られた。また、地場産品の野菜等を積極的に使用した。食物アレルギー対応では、代替飲料2名の給食対応を行い給食事故のない提供ができた。				
	③給食の安定供給ができた。(補助金額:虻田給食センター3,418,000円・洞爺給食センター1,099,000円)				
達成度	B	説明	洞爺給食センターで給食費収納率が100%とならなかった。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①給食センターの管理・運営の検討		両施設ともに経年劣化が進んでいる事から、施設・機器の維持管理を図り、現施設の運営に努める。		
	②食育活動の充実		栄養教諭による食育指導の継続を図る。保護者へも地場産食材を積極的に使用している事を給食便り等で周知を行って行く。		
	③給食費の検討		今後の給食センターの在り方が決まり次第、給食数の検討も必要である。		
評価委員の意見・提言	安心安全な給食提供に向けた取り組みを引き続き進めていただきたい。				

令和7年度(令和6年度実施)

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

		担当課	社会教育課		
推進項目	Ⅱ 社会教育の推進				
主要施策	ア 家庭教育の充実				
取り組みの概要 (事務事業)	①ブックスタート事業(生後7カ月の乳児健診時に絵本を贈呈) ②早寝早起き朝ごはん運動(家庭教育に関する情報の提供) ③子育てセミナーの活動支援(セミナーの開催により親同士の情報交換の場の提供)				
実施状況	①生後7ヶ月の乳児健診を利用し、本を通して親子のふれあいと心や言葉の発達を促し、子育てに対する意識を育てる事業(本の贈呈)を実施した。(参加延べ27名) ②小学校新入学児童説明会を利用して、保護者に対し生活・学習習慣についての出前講座を実施(虹小 10/31、温小 10/23、とうや小学校 10/16)、小中学校への周知、ホームページへの掲載等実施。 ③6回実施した(参加者延べ46名)。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(6年度)	
		5年度	6年度	国・道	その他
	①ブックスタート事業	34	35	0	0
	②早寝早起き朝ごはん運動	0	0	0	0
	③子育てセミナー	0	0	0	0
評価	①絵本の贈呈をきっかけに読み聞かせの推奨や、読書の家で借りることができる本や施設の紹介などを行った。 ②保護者に対し、生活習慣や親子のふれあいの時間の大切さなどの情報発信を行い、家庭教育の推進が図れた。 ③町民カレッジ対象事業とし、参加促進の支援を図った。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		
課題と対応方向	課 題		対 応 方 向		
	①読書活動の定着		読み聞かせサークルとの連携を図り、継続した活動の支援		
	②具体的な事業の取組		LINE やチェックシートの活用など、さらなる周知・啓発		
	③家庭教育の推進		子育て支援課との連携を強化し、家庭教育の推進を図る		
評価委員の意見・提言	乳幼児の大切な時期であり、事業内容の充実に努めていただきたい。				

令和7年度(令和6年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	社会教育課			
推進項目	Ⅱ 社会教育の推進					
主要施策	イ 少年の学びの充実					
取り組みの概要 (事務事業)	①とうや湖 GENKIDS 事業 ②三豊市との小学生交流事業 ③学校支援地域本部事業 ④学習支援事業「地域未来塾」の実施（公設の無料学習塾） ⑤少年の主張大会(主催:青少年健全育成連絡協議会)					
実施状況	①7 回開催(登録制なし、参加人数延べ 553 名) ②7/26～29(受入れ)、11/22～25(訪問) 洞爺湖町児童 13 名、三豊市児童 10 名 ③39 組の個人・団体が学校支援ボランティアに登録。学校支援ボランティア会議の開催(10/28)。 ④6月～2月の期間中、小中学生を対象にウトウラノ(虻田地区)、洞爺総合センター（洞爺地区）主会場として、曜日を定めて実施した。(延べ 840 人) また、ウトウラノでは高校受験生を対処とした、東大生講師による ICT 遠隔教育事業を8月から2月まで実施した。(延べ 377 人) ⑤対面形式により実施した(町内中学生 6 名)。					
事業費	事 務 事 業		決算額(千円)		特定財源(6 年度)	
			5 年度	6 年度	国・道	その他
	①洞爺湖 GENKIDS		0	5	0	0
	②三豊市との小学生交流事業		1,254	1,577	0	2,088
	③学校支援地域本部事業		8	6	3	0
	④地域未来塾		4,165	3,627	1,970	0
	⑤少年の主張大会		20	25	0	0
評 価	①7 回開催し、多くの参加者があった。 ②2 校から参加者があり、友好都市三豊市との交流が図られた。 ③小学校での読み聞かせや防災学習、地域未来塾での活動を行った。 ④地域未来塾の実施により、学習習慣を身に付け、基礎学力向上に向けた事業実施が図られた。 ⑤少年の健全育成の取組が図られた。また、傍聴者の参加も多くみられた。					
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。			
課題と	課 題		対 応 方 向			

対応方向	①事業の検討	年間を通じて参加を促す仕組みづくり
	②参加者の拡大	友好都市とのつながりや交流の実施状況など、事業の周知に努める。
	③学校支援ボランティアの活用	登録ボランティアの活動を推進するため、今後も登録者との意見交換会を継続的に実施し、関係機関との連携を強化する。
	④指導体制の強化と対象学年の拡大	対象学年の拡大に向けて、ニーズの把握と体制整備に努める。
	⑤事業の周知	多くの町民が傍聴できるよう、広報などでできるだけ早い周知に努める。
評価委員の 意見・提言	引き続き事業の充実を図り推進していただきたい。	

令和7年度(令和6年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	社会教育課		
推進項目	Ⅱ 社会教育の推進				
主要施策	ウ 成人の学びの充実				
取り組みの概要 (事務事業)	①二十歳のつどい実施 ②人づくり育成事業の実施				
実施状況	①対象年齢は20歳、47名(対象者73名)が参加した。 ②3件の申請があった(対象延15名)。研修先:青森県弘前市、士別市、香川県三豊市				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(6年度)	
		5年度	6年度	国・道	その他
	①二十歳のつどい	120	135	0	0
②人づくり育成事業	0	605	0	0	
評価	①予定通り実施した。 ②申請があった3件については、予定通り実施した。				
達成度	A	説明	予定通り実施できた		
課題と 対応方向	課題		対応方向		
	①特になし				
	②事業の周知		広報・ホームページ・SNSにより周知を行う。		
評価委員の 意見・提言	人づくり育成事業については、さらなる周知に努めるなど、多くの方に活用していただけるよう取り組みを進めていただきたい。				

令和7年度(令和6年度実施)

事務事業評価シート

			担当課	社会教育課		
推進項目	Ⅱ 社会教育の推進					
主要施策	エ 男女共同参画事業の充実					
取り組みの概要 (事務事業)	①洞爺湖町男女共同参画計画の推進 ②講演会(きずな学級)の開催					
実施状況	①洞爺湖町男女共同参画計画推進委員会の開催(10/16)、啓発ポスター掲示、web アンケートの実施 ②洞爺湖町男女共同参画講演会 2024(きずな学級講演会)の実施 令和6年8月28日(水)参加者 60人					
事業費	事 務 事 業		決算額(千円)		特定財源(6年度)	
			5年度	6年度	国・道	その他
	① 洞爺湖町男女共同参画計画の推進		48	13	0	0
② 講演会(きずな学級講演会)の開催		50	50	0	0	
評 価	①web アンケートの結果、町民意識の傾向を把握することができた。 ②女性、子ども、高齢者、障がい者など誰もが安心できる避難所について改めて考えるきっかけができた。					
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。			
課題と 対応方向	課 題		対 応 方 向			
	①男女共同参画に関する意識の向上		引き続き、町ホームページ等で周知を行う			
	②参加者の拡大		広報・ホームページ・SNSにより周知を行う			
評価委員の 意見・提言	引き続き事業の充実を図り推進していただきたい。					

令和7年度(令和6年度実施)

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

		担当課	社会教育課		
推進項目	Ⅲ 芸術文化の振興				
主要施策	ア 芸術文化活動の充実				
取り組みの概要 (事務事業)	① 各種発表会等の開催・支援 ② 美術見学の機会の提供				
実施状況	① 総合文化祭(虻田地区)、洞爺湖町民文化祭(洞爺地区)の実施 (洞爺湖町文化団体協議会) 展示部門 10/26～10/27 あぶた体育館 ステージ部門 10/13 洞爺湖文化センター (とうや文化協会) 展示部門 11/2～4 洞爺総合センター ステージ部門 11/23 ・ふれ合う心の文化広場 3/9 洞爺湖文化センター ※主催:洞爺湖町文化団体協議会 ・各種団体等との連携 町民ロビー展(開催回数 11回) ② 美術見学会は、美術館を巡り鑑賞の機会を提供 (10/11 小樽市西洋美術館、ステンドグラス美術館 43名)				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(6年度)	
		5年度	6年度	国・道	その他
	①洞爺湖町文化団体協議会活動運営事業	300	300	0	0
	①とうや文化協会活動運営事業	100	100	0	0
	②美術見学会	175	223	21	86
評価	① 虻田地区の総合文化祭及び洞爺地区の町民文化祭ともに、相互協力のもとに開催することができた。 町民ロビー展は、町内各団体や個人による作品発表の場となった。 ② 美術見学会の実施に伴い、芸術文化を理解する機会を提供することができた。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		
課題と対応方向	課 題		対 応 方 向		
	① 人材の発掘・活動の支援 ② 芸術文化の鑑賞機会の提供		発表の場の提供、個人・団体の活動支援。 町民のニーズに応えた見学会の提供。		
評価委員の意見・提言	引続き各団体への支援及び事業内容の充実を図っていただきたい。				

令和7年度(令和6年度実施)

事務事業評価シート

			担当課	社会教育課		
推進項目	Ⅲ 芸術文化の振興					
主要施策	イ 洞爺湖芸術館管理運営の充実					
取り組みの概要 (事務事業)	① 洞爺湖芸術館における特別展及びワークショップ等の開催 ② 建物の維持管理、所蔵作品の管理					
実施状況	① 常設展:ピエンナーレコレクション展 3回 4～9月 特別展:野生の学舎「いのちのかたち」 10～11月 演奏会・ワークショップ:6回(コンサート2回、ワークショップ4回) ② 所蔵作品保険加入、木彫作品の燻蒸、あり方検討委員会の開催(3回)、エアコンの設置					
事業費	事務事業		決算額(千円)		特定財源(6年度)	
			5年度	6年度	国・道	その他
	① 特別展及びワークショップ等		1,157	1,126	0	0
	② 建物維持管理、所蔵作品の管理		6,343	8,982	0	498
評価	① 特別展、ワークショップ等は友の会と連携しながら予定通り実施できた。 ② 所蔵作品の保険加入、木彫作品の燻蒸作業については予定通り実施し、維持管理を行った。					
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。			
課題と 対応方向	課題		対応方向			
	① 特別展等の充実 ② 建物・所蔵作品のあり方の検討		①企画展やワークショップ等の充実。 ②検討委員会の意見を踏まえ、建物、作品の活用等芸術館の今後の方針を策定。			
評価委員の 意見・提言	引き続き事業の充実を図り推進していただきたい。					

令和7年度(令和6年度実施)

事務事業評価シート

		担当課		社会教育課	
推進項目	Ⅲ 芸術文化の振興				
主要施策	ウ 入江・高砂貝塚保存整備・運営の充実				
取り組みの概要 (事務事業)	① 体験学習などの利活用 ② 縄文ボランティアガイドの育成 ③ 縄文遺跡群の世界遺産保存活用の推進				
実施状況	① 縄文まつり、縄文体験(虻田・洞爺地区)、胆振縄文バスツアー体験事業 ② ガイド育成事業(研修会、情報交換会への参加) ③ 世界遺産の普及活用(世界遺産3周年記念事業、いぶり縄文スタンプラリー、縄文パネル展の開催等)、縄文シティサミット in とうや湖の開催(10/7～8)				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(6年度)	
		5年度	6年度	国・道	その他
	① 体験学習などの利活用	581	150	0	0
	② 縄文ボランティアガイドの育成	77	89	0	0
	③ 縄文遺跡群の世界遺産保存活用の推進	409	549	0	0
評価	① 入江貝塚での縄文まつりや体験学習など、充実した活動を実施することができた。 ② 北海道との連携や町単独での育成講座に積極的に参加し、ガイドの質を高めることができた。 ③ 北海道や構成資産と連携した取組により世界遺産の理解を深めることができた。また、縄文シティサミットの開催により、町内外との交流と情報発信ができた。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		
課題と 対応方向	課題		対応方向		
	① 利活用について		縄文への理解を深めるためのより充実したソフト事業の計画、実施。		
	② ガイドの充実		来訪者への理解促進に向け、活動支援や学習会を行う。		
	③ 世界遺産の保全		周辺地域の開発等を把握し、保全に努める。		
評価委員の 意見・提言	今後も貴重な遺跡の価値を認識してもらうための取り組みを進めていただきたい。				

令和7年度(令和6年度実施)

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

		担当課	社会教育課		
推進項目	Ⅲ 芸術文化の振興				
主要施策	エ 町内文化財の保存活用				
取り組みの概要 (事務事業)	① 充実した施設の運用 ② 指定文化財の保存と活用				
実施状況	① 学校の授業において、郷土資料館の見学会を行った。 ② 洞爺湖町指定文化財である各獅子舞保存会への支援。文化財防火デーの実施。				
事業費	事 務 事 業		決算額(千円)		特定財源(6年度)
			5年度	6年度	国・道 その他
	① 郷土資料館見学会等		0	0	0 0
	② 各獅子舞保存会補助金		100	150	0 0
評 価	① 虻田郷土資料館、洞爺郷土資料室において、地域学習の場を提供することができた。 ② 町指定文化財の活動支援をすることができた。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		
課題と 対応方向	課 題		対 応 方 向		
	① 施設の利活用の促進		郷土の歴史の理解を深めるため、引き続き利活用の促進に努める。		
	② 指定文化財へのさらなる支援		今後も各保存会と連携し、指定文化財の保存と継承に努める。		
評価委員の 意見・提言	引続き指定文化財の保存・継承の支援と郷土資料の適正な保存管理を図っていただきたい。				

令和7年度(令和6年度実施)

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

	担当課	社会教育課			
推進項目	Ⅲ 芸術文化の振興				
主要施策	オ 読書活動の振興				
取り組みの概要 (事務事業)	① 読書環境・活動の充実 ② 読書感想画・読書紹介文募集事業				
実施状況	① あぶた読書の家、母と子の館での読み聞かせ(定期)を実施した。 北海道日本ハムファイターズとの連携により読書事業を実施した。 ② 読書感想画、読書紹介文募集事業(155 作品)				
事業費	事 務 事 業	決算額(千円)		特定財源(6年度)	
		5年度	6年度	国・道	その他
	① 読み聞かせ	20	20	0	0
	① 読書の家維持管理事業	4,703	5,225	0	0
	② 読書感想画・紹介文募集事業	24	33	0	0
評 価	① 読み聞かせは、2団体により、延 51 回開催し、子どもが読書に親しみ、本を読むきっかけづくりができた。また、北海道日本ハムファイターズが主催する読書キャンペーンには、町内より 27 名が参加し、12 名の達成者があった。 ② 読書感想画、読書紹介文募集事業を洞爺湖ロータリークラブとの共催で継続実施。継続した取り組みが図られた。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		
課題と 対応方向	課 題		対 応 方 向		
	① 施設の利用促進		図書関連行事等の情報発信やサークルの支援に努める。		
	② 活動の充実		共催団体と連携し、学校などへの働きかけに努める。		
評価委員の 意見・提言	読書に親しむ機会の提供を図るため引き続き事業の充実を図っていただきたい。				

令和7年度(令和6年度実施)

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

		担当課	社会教育課		
推進項目	Ⅳ スポーツ活動の推進				
主要施策	体育振興事業の充実				
取り組みの概要 (事務事業)	①アウトドアスポーツ ②スポーツ教室				
実施状況	①アウトドアスポーツ レークスポーツ教室(63名)、町民スノーシュー散策&とうや冬まつり(16名) ②スポーツ教室 「かけっこ教室」(75名)、「夏休み水泳教室」(延 34名)、「ヨガ&トレーニング教室」(延 30名)、「出前スポーツ教室(モルック)」(延 38名)、「スポーツ体験会(スポーツまつり)」(延 78名)、「初心者スキー教室」(延 73名)				
事業費	事 務 事 業		決算額(千円)		特定財源(6年度)
			5年度	6年度	国・道 その他
	①アウトドアスポーツ		25	67	0 0
	②スポーツ教室		105	235	0 0
評 価	①アウトドアスポーツは、カヌーなどこの地域ならではの体験を提供できた。 ②スポーツ教室は、アンケートの結果要望が多かったかけっこ教室やヨガなどを実施し、いずれも参加者に好評だった。				
達成度	A	説明	概ね達成できた。		
課題と 対応方向	課 題		対 応 方 向		
	①企画内容の検討		参加者のニーズに合わせた魅力ある事業の実施に努める。		
	②誰もが取り組めるスポーツの普及活動		誰もが取り組めるニュースポーツの普及に努める。		
評価委員の 意見・提言	引き続き内容の充実に努め、町民のニーズに合わせてさらなる事業の展開を推進して頂きたい。				

令和7年度(令和6年度実施)

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

	担当課	社会教育課				
推進項目	V 社会教育施設及び社会体育施設の充実等					
主要施策	ア 社会教育施設及び社会体育施設の整備					
取り組みの概要 (事務事業)	①施設の維持管理 ・社会教育施設(あぶた母と子の館、虻田ふれ合いセンター、読書の家、入江・高砂貝塚館、虻田郷土資料館) ・社会体育施設(あぶた体育館、洞爺湖町プール、テニスコート)					
実施状況	①社会教育施設及び体育施設においては、必要な修繕を実施した。					
事業費	事 務 事 業		決算額(千円)		特定財源(6年度)	
			5年度	6年度	国・道	その他
	①社会教育施設維持管理事業		49,987	24,218	0	416
	①体育施設運営事業		13,045	13,639	0	1,035
評価	①各施設は必要な修繕を行い、適切な管理運営をすることができた。					
達成度	A	説明	予定どおり達成できた。			
課題と 対応方向	課 題		対 応 方 向			
	①各施設の老朽化		施設利用者の安全に努め、適正な維持管理を行う。			
評価委員の 意見・提言	施設利用者の安全管理を考慮して適切な管理運営に努めていただきたい。					